令和６年度　期末評価結果

共同利用・ 共同研究拠点名	日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点 【国際共同利用・共同研究拠点】
大学等名 （研究施設名）	立命館大学（アート・リサーチセンター）
評価区分 （期末評価結果）	B
評価コメント	本拠点は、所有する日本文化資源の膨大なデータベースの利用を国内外の共同研究者に開放するとともに、蓄積してきたデジタル・アーカイブ技術やデータベース管理技術を研究プロジェクト活動の基盤として提供し、情報アーカイブ・知識循環型共同研究を推進することを目的として拠点活動を実施している。国際共同利用・共同研究拠点としての活動は行われているものの、低調であると評価される。 日本文化資料のデジタル・アーカイブ構築による関連コミュニティへの貢献は大きく、また、国外の研究機関等との共同プロジェクトの実施や若手研究者の育成の取組等、拠点としての活動が活発に行われている。一方、国際共同利用・共同研究拠点としては国際的な学術誌への論文掲載が十分とは言えず、拠点が推進するデジタル・ヒューマニティーズ型の研究成果の創出に向けて更なる努力が必要である。 今後は、国際共同利用・共同研究拠点として、共同研究成果に関する国際的な学術誌での積極的な発表に取り組むとともに、デジタル・ヒューマニティーズ型研究の発展に向けたビジョンを明確にし、その具体的な研究成果を創出すること期待される。なお、拠点の国際的な活動展開に当たっては、運営委員会において国際的な動向を把握し、広く国内外の関連研究者の意見を取り入れる機能を強化することが望まれる。